

第10回 中国残留日本人への理解を深める集い

「満州、悲惨な集団自決体験を語りつぐ」

と き：2024年11月30日（土）

午後1時30分～4時

ところ：尼崎市立中央北生涯学習プラザ 1階大ホール
入場無料（予約不要）

第1部

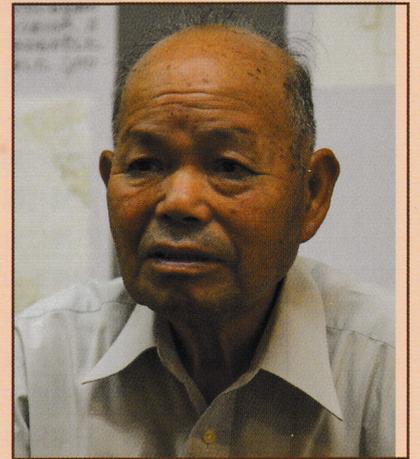
「生還者の証言」

高橋村満州開拓団

山下幸雄さん

高橋村満州開拓団の歴史を語り継ぐ会

山下文生さん



山下幸雄さん

第2部

「高橋村満州開拓団」は

どのようにして満州に送出されたか」

写真家 宗景 正

◎ 1階ロビー展示

写真と資料でたどる「高橋村満州開拓団」

撮影・編集構成 宗景 正

期間：11月27日（水）～12月3日（火）

午前9時～午後8時（最終日は午後5時）

主催：尼崎市（委託事業団体：コスモスの会尼崎日本語教室）

後援：尼崎市教育委員会

近畿中国帰国者支援・交流センター

大阪中国帰国者センター

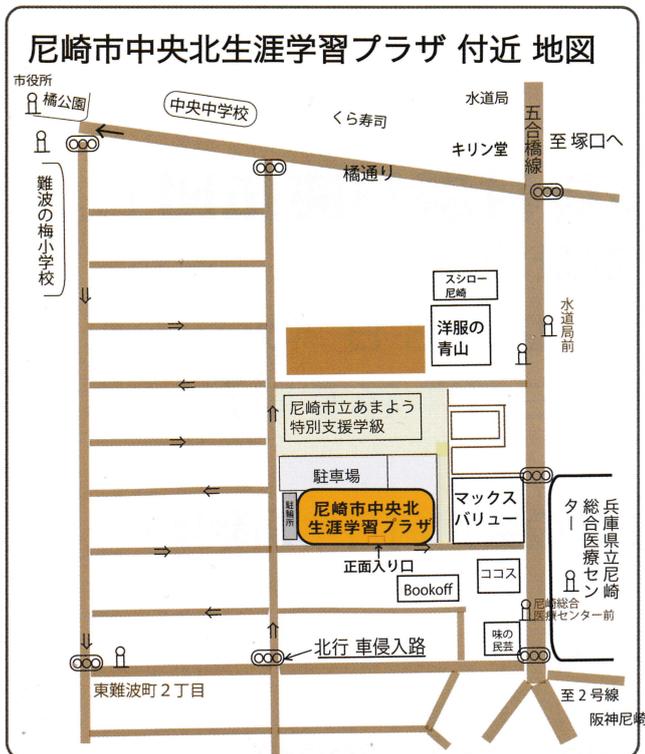
問合せ先：コスモスの会 石打謹也（090-7489-7091）

HP:<http://kosumosunokai.sakura.ne.jp/kosumosu.html>

満州事変から開拓団の引揚げまで関連年表

年	月日	主な出来事
1931	9.18	満州事変(九一八事変)。武力により中国東北部を占領・支配。中国との15年戦争が始まる。
1932	3.1	満州国建国を宣言。
	5.15	5.15事件。武装した海軍将校らが犬養首相を暗殺。事件後、齋藤実内閣により試験移民費が認められ、8月第63臨時帝国議会を通過。(政党中心から軍部中心政治へ)
	10	第一次満州移民 弥栄村。退役軍人らで組織された武装移民団が三江省樺川県永豊鎮へ入る。
1933	7	第二次移民 千振村。第一次と同様に武装移民団が弥栄村と同じ樺川県の湖南営へ入る。
1934	3	土龍山事件。三江省依蘭県土龍山で土地の強制買収に対して起こった謝東文らの抗日農民蜂起。
	10	第三次移民 瑞穂村。日本全国から農民で編成された移民団。農民蜂起のため入植地を変更し北安省綏化県へ入植。
	11.26	関東軍「第一回移民会議」 移民実施助成各機関が体系的に計画された。満州移民は試験移民期を経て国策と定義された。
1936	2.26	2.26事件。陸軍将校らの反乱。満州移民に反対していた大蔵大臣 高橋是清らが暗殺された。
	8	広田弘毅内閣 20ヶ年 100万戸計画で本格的な移民が始まる(移民が国策となる)。
1937	7~8	盧溝橋事件(七七事変)、上海事変が発生。日中戦争開戦。全面戦争に発展。
1941	12.8	真珠湾攻撃。太平洋戦争開戦。
	12.31	2期5ヶ年計画。5年間で開拓民 ¹⁾ 22万戸 110万人を満州に入植させる計画。
1944	1.7	高橋村開拓団先遣隊が出発。
	3.21 ~4.1	高橋村開拓団本体が出発(アメリカ軍の空襲などにより、必要な荷物の同時輸送が困難となり、3隊に分かれて出発)。
	5.30	関東軍の満鮮方面対ソ作戦により、満州の4分の3に及ぶ地域の防衛と邦人保護を放棄。
1945	7.10	在満日本人を一斉に召集。18歳以上から45歳以下の男性を一斉に招集した。開拓団の村には老人、女性、子供が残された。
	8.9	ソ連軍が国境を越えて満州に侵攻。開拓民の避難行が始まる。
	8.15	日本無条件降伏。
1946	3	GHQ「引揚げに関する基本命令」
	5.7	満州からの引揚げ開始。コロ島から48年8月までに104万人が引揚げ。
1949	10.1	中華人民共和国成立。日本は承認せず、国交断絶、引揚げ中止。

1) 1939年「満州移民」を「満州開拓団」に呼称変更。



〈会場へのアクセス〉

尼崎市立中央北生涯学習プラザ

尼崎市東難波町2-14-1 (06-6482-1750)

JR神戸線

- 立花駅(高架上)から15番「阪神尼崎(北)」行き「東難波2丁目」下車 徒歩約5分。
- 立花駅(高架下)から43番「阪神尼崎(北)」行き「尼崎総合医療センター」下車 徒歩約3分。
- 尼崎駅 4番乗り場から(50,50-2,50-3,50-4)の各番号「尼崎総合医療センター」下車 徒歩約3分。

阪神電車

- 阪神尼崎駅から阪神バス13番「阪急塚口」行き「尼崎総合医療センター」下車 徒歩約2分。

阪急電車神戸線

- 阪急塚口駅から阪神バス13番「阪神尼崎」行き「尼崎総合医療センター」下車 徒歩約3分。